

パオちゃん's EYE

2018年2月1日 発行 No.11

新種の標本

第3展示室「昆虫の世界」の一角に「研究への活用」というコーナーがあります。博物館に収蔵されている標本を使った研究を紹介するコーナーで、実際に使われた標本もいくつか展示しています。

その中に、昨年9月に新種として発表されたばかりの昆虫の標本があります。これらは、2011年に台湾で日本人研究者によって採集されたものです。コウチュウ目ジョウカイボン科の昆虫で、日本に持ち帰られた後、このグループの研究をしている私のところへ届けられました。美しいコバルトブルーに輝く上翅が目を引き、このような特徴を持つジョウカイボンは台湾から見つかっていなかったもので、すぐに「新種かもしれない」と思いました。



その後、台湾の研究者との共同研究によって、新種と確認され、採集者の新里達也博士に献名して、*Lycocerus niisatoi* (リコケルス・ニイサトイ) という学名を付けました。新種を記載する論文では、新種の学名を付けると同時にその種の基準となる標本を指定することになっています。一番大切な唯一の標本を正基準標本(写真1, ♂)、その他の準ずる標本を副基準標本(写真2, ♀)といいます。今回の研究では、正基準標本は台湾の国立自然科学博物館へ納めました。副基準標本のうち3個体を当館で保管することになっています。

3月18日(日)の「むしむし探検隊&昆虫担当学芸員研究発表会」では、この度の新種発見を題材に分類の研究と新種記載の仕方についてご紹介する予定です。

奥島雄一(昆虫担当)

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろんな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう! パオより

